

環 境 方 針

日本海生コン(株)は、『創意と努力と人の和で信用をきずこう』を経営理念として、顧客ニーズにあったレディーミクストコンクリートを JIS A 5308 認証工場として製造・販売しています。

また、当社の事業活動を進めていく中で、環境保全が重要課題の一つである事を認識し、地球環境との調和、地域社会との融和を図りながら進歩・発展していくことを目指していきます。このため、私達は事業活動に伴う環境への負荷を少なくするために、以下の取組を社員一丸となって推進致します。

- ① 省エネルギー及び省資源を推進し、地球温暖化防止に努めます。
- ② 廃棄物の削減及びリサイクルの推進に努めます。
- ③ 工場内の緑化を推進致します。
- ④ 5S（整理・整頓・掃除・清潔・躰）を徹底致します。

この方針に基づいて社員一人ひとりが自主的に環境保全活動に取り組むために、環境方針と環境目標及びその具体的な活動内容を全社員に周知・徹底致します。

平成 25 年 7 月 1 日

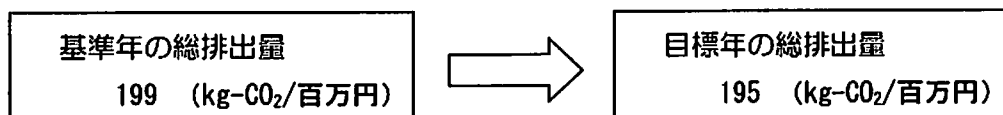
日本海生コン株式会社

代表取締役社長 北川 博

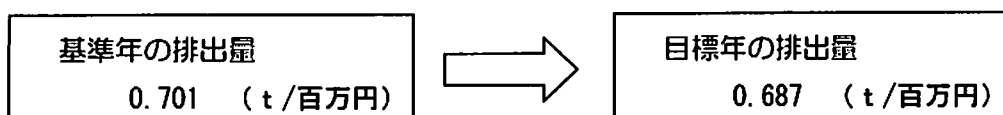
3. 環境負荷の低減目標

平成 26 年度に向けての環境負荷の低減目標は、次のとおりです。(数値的な低減目標についての基準年度は、いずれも平成 24 年度としています。)

【目標 1】 二酸化炭素の総排出量を売上高当たり 2%削減する

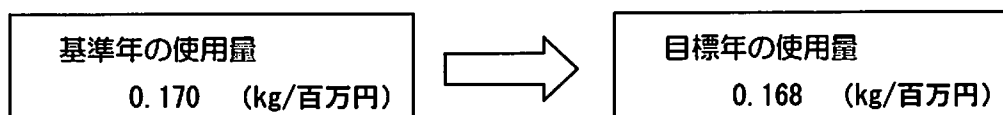


【目標 2】 産業廃棄物の排出量を売上高当たり 2%削減する

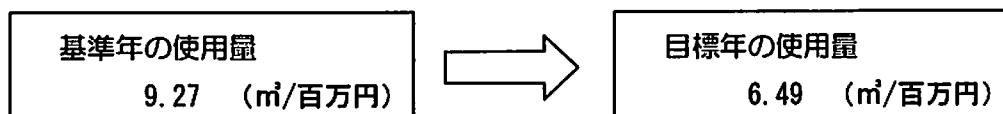


* なお、一般廃棄物については適正管理に努め、排出量の削減とリサイクルの推進を図る

【目標 3】 コピー用紙の使用量を売上高当たり 1%削減する

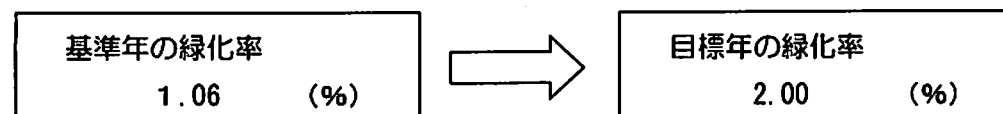


【目標 4】 水使用量を売上高当たり 30%削減する



* プラント及びトラックアシテータ等の洗浄水を製品に再利用することで地下水の使用量並びに工場排水を大幅に削減する

【目標 5】 工場内の緑化率を 2%に増加する



4. 環境保全に向けた具体的な取組

【取組 1】 二酸化炭素排出量の削減

(製造部門での取組)

- ① 昼休みと休憩時には、使用していない機械の電源を切る。
- ② 空気圧縮機については、必要十分なライン圧力に低圧化する。
- ③ 5S の徹底により作業効率を改善し、作業時間を短縮する。

(事務部門での取組)

- ④ 夏季における軽装（クールビズ）、冬季における重ね着等（ウォームビズ）をして冷暖房の使用を抑える。
- ⑤ O A機器の節電機能を有効に活用する。
- ⑥ LED 照明、インバーター照明などを導入し、照明器具の省エネ化を進める。
- ⑦ 毎月1回（第一土曜日）ノー残業デーを設ける

(車両での取組)

- ⑧ エコドライブの推進体制を作り、組織的に取組む。
- ⑨ ハイブリッド車や低燃費車、低公害車の導入を進める。
- ⑩ 車両の点検を定期的に行い、燃費の向上に努める。

【取組2】廃棄物の適正管理と排出量の削減

(産業廃棄物)

- ① 残コン・戻りコンは全てリサイクルする。
- ② 廃棄物管理票（マニフェスト）の管理を徹底する。
- ③ 軍手、ゴム手袋は使用限度を定め、無駄に廃棄しない。

(一般廃棄物)

- ④ 詰替え可能な製品、簡易包装の製品を優先的に購入する。
- ⑤ 使用済み封筒を再利用する。
- ⑥ 排出する廃棄物の質量を記録する。

【取組3】コピー用紙使用量の削減

- ① 社内 LAN、データベース等の有効活用により文書の電子化を進める。
- ② 両面印刷・両面コピーを徹底し、使用済み用紙の裏面を有効利用する。
- ③ 機密文書及び個人情報を含む書類以外のシュレッダー使用を制限する。

【取組4】水使用量の削減

- ① プラント洗浄水等の再利用率を高められるよう調合管理をおこなう。
- ② 洗車時においては、注水タイマー等を利用し節水に努める。
- ③ 手洗い・足洗い場に節水を呼びかける標語を掲示する。

【取組5】工場内の緑化の推進

- ① テストピースを再利用した花壇を作製し、工場内の緑化を推進する。
- ② 定期的な剪定や草刈を実施する。

5. 環境行動計画の実施体制

この環境行動計画にそって環境保全活動を推進するために、工場長（環境管理責任者）を委員長とする EMS 推進委員会を設け、全従業員が「具体的な取組」を実行致します。

また、環境管理責任者は、目標達成のために必要な教育訓練及びシステムの継続的改善を実施致します。